

## 鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

(平成 25 年 7 月 26 日)

【五】子曰く、詩三百を誦するも、之に授くるに政を以てして達せず、四方に使用して専対すること能わずんば、多しと雖も亦奚を以て為さん。

孔子が、詩経の 300 篇暗唱していても、政治を任されてきちんと行うことが出来ない、外国に外務大臣として出掛けて行っても、きちんと談判できない、話し合いが出来ないというのでは、まるで役に立たない。これは結構あります。北朝鮮や中国に行く時など、このような大臣が多いような感じがします。

【六】子曰く、其の身正しければ、令せずとも行わる。其の身正しからざれば、令すと雖も従わず。

孔子が言うには、政治家の立つ位置が正しければ、はっきりとした命令を下さなくても成すべきことを官僚は行うものである。政治家の姿勢が正しくない、賄賂汚職をやっているといくら命令を出しても官僚は従わないし、いわんや国民も従うわけがない。

今回の参議院選挙などがこれにピッタリと合うようで、政治家が政治家の為すべきことをきちんとしていれば選挙に行くべき人は行くだろうし投票もきちんとするだろう。いくら笛や太鼓を鳴らしても投票率は今のようなものでは、お話にならないのではなかろうかというようにここは解釈ができます。

【七】子曰く、魯衛の政は兄弟なり。

孔子曰く、魯・衛の政治については、もともと君主は祖先が同じで、出だしが兄弟だったので後代に至っても流れはきちんと続いている。乱れる時には、魯も衛も乱れるし、きちんとしている時には、きちんとしているように見える。従って出だしが肝心ですねと思えば良いでしょう。言い方を変えると、今回の菅さんと鳩山さん、創業の頃の二人、内閣総理大臣を務めた人も出だしが良くなかったから、後半になってもきちんとする訳がない。その内消えざる運命にあるでしょう。